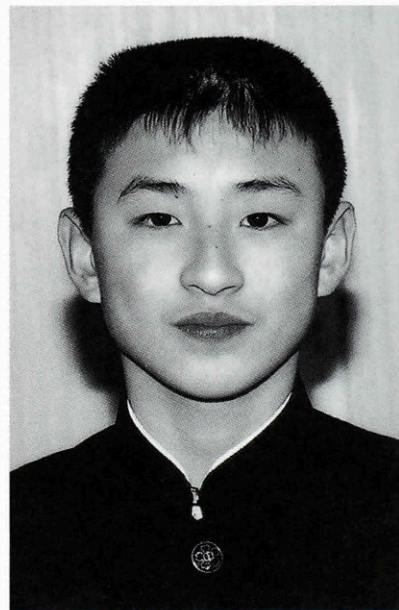


ながとじん 長門人



僕たちの壁画 未来へ

— 連絡帳 —

卒業生の思い出を壁画に、担任の網林先生の発案のもと、僕たち3年生19名のビッグプロジェクトがいに完成した。

9月、俵山中の卒業生にアンケートをとり、壁画のテーマを「自然」と「部活」に決定。さっそく下絵を描き、講師の先生にアドバイスをいただきましたながら壁に色を塗る。なかなか納得のいく色合いが出せず、休日返上で活動が続いた。

11月2日、壁画が完成。「全員真剣」、「全員協力」のスローガンを振り返り、100%達成されたことを実感した。壁画の前には、充実感に浸り、多くの方々の支援に素直に感謝できる僕たちの笑顔があった。



友達と言った。「こんなに協力しあい、一つになったのは初めてだと思ふ...」
僕は思った。「大人になって、壁画の下で同窓会をしたい!」
僕たちの壁画 未来へ

西松 翔平 さん

にしまつしょうへい / 平成元年生
俵山中学校 3年 / 郷区

朗読劇「茜座」は平成10年に結成し、現在、小学生を中心に16人のメンバーで毎週金曜日、保健センター2階で朗読劇の練習を行っています。

朗読劇というと聞き慣れない方もいらっしゃるかと思いますが、民話や童謡、小説などを複数の人が劇のように舞台表現することです。演じる人によって自由な表現が可能で、初めの子どもたちは恥ずかしがっていた子どもたちも今では、「舞台に立つのが楽しいし面白い」と話します。

朗読と台詞に合わせた動作だけで話の内容を伝えなければならぬため、なるべくゆっくり大きな声で読み、身振り手振りで感情表現するように練習して



朗読劇の練習風景

今月4月の中央公民館まつりでの発表に向けて練習中。演目は「さるかに合戦」と「どうぞのいす」です。

朗読劇は、きれいな日本語を使うので言葉を大切にすると言う意味ではとても良いことだと思います。公民館まつりにはぜひみなさん見に来て朗読劇の魅力を味わってください。

みんな笑顔になーれ

— 仲間たち —



朗読劇 茜座

事務局 秋里 珠代さん (上川西1区)

連絡先 ☎ 22-1180